

● 二酸化炭素排出係数

No.	排出源	単位	排出係数 (g-CO <sub>2</sub> /MJ)	※2) 排出係数 (kg-CO <sub>2</sub> /kg、 L、Nm <sup>3</sup> 、MJ)	※1) 発熱量 (MJ)	備考
一号イ: 燃料に伴う排出						
(1)	原料炭	kg	90.4	2.613	28.90	H14年度 『温室効果ガス排出量算定 方法に関する検討結果』資料より
(2)	一般炭(国内炭)	kg	87.5	1.969	22.50	
(3)	一般炭(輸入炭)	kg	90.0	2.394	26.60	
(4)	石炭((1)~(3)を除く)	kg	90.0	2.448	27.20	
(5)	コークス	kg	108.0	3.251	30.10	
(6)	練炭、豆炭	kg	90.0	2.151	23.90	
(7)	原油	L	69.0	2.636	38.20	
(8)	天然ガス液(NGL)	L	68.0	2.400	35.30	
(9)	ガソリン	L	68.8	2.380	34.60	
(10)	ナフサ	L	65.2	2.223	34.10	
(11)	ジェット燃料油	L	67.0	2.459	36.70	
(12)	灯油	L	68.5	2.514	36.70	
(13)	軽油	L	69.2	2.643	38.20	
(14)	A重油	L	71.6	2.800	39.10	
(15)	B重油	L	72.0	2.909	40.40	
(16)	C重油	L	71.6	2.986	41.70	
(17)	潤滑油	L	72.0	2.894	40.20	
(18)	石油コークス	kg	93.0	3.311	35.60	
(19)	液化石油ガス(LPG) (1m <sup>3</sup> =2kg)	kg	58.6	2.942	50.20	
(20)	液化天然ガス(LNG)	kg	50.8	2.769	54.50	
(21)	天然ガス(LNGを除く)	Nm <sup>3</sup>	51.0	2.086	40.90	
(22)	コークス炉ガス	Nm <sup>3</sup>	40.3	0.850	21.10	
(23)	高炉ガス	Nm <sup>3</sup>	108.0	0.368	3.41	
(24)	転炉ガス	Nm <sup>3</sup>	108.0	0.908	8.41	
(25)	製油所ガス	Nm <sup>3</sup>	53.7	2.411	44.90	
(26)	都市ガス	Nm <sup>3</sup>	51.3	2.108	41.10	
(27)	その他石油製品((9)~ (19)、(25)を除く)	kg	76.0	3.215	42.30	
一号ロ: 他人から供給された電気の使用に伴う排出						
(1)	一般電気事業者(東京電力、中部電力 他)	kWh		0.377	3.60	H15年度 『温室効果ガス排出量算定 方法に関する検討会』資料より
(2)	その他(コージェネレーション等 自家発電)	kWh		0.565	※3 9.42	
一号ハ: 他人から供給された熱の使用に伴う排出						
(1)	供給された熱	MJ	0.067	0.067	1.00	H12年度 『温室効果ガス排出量算定 方法に関する検討結果』資料より

環境省>地球環境・国際環境協力(地球環境局) 温室効果ガス排出量算定検討会による『温室効果ガス排出量算定方法に関する検討結果』をベースに作成

※ CO<sub>2</sub>排出係数は、排出源の使用量により毎年変動します。

※1 発熱量は平成14年度『温室効果ガス排出量算定方法に関する検討結果』資料の  
総合エネルギー統計の表:エネルギー源別発熱量と実測発熱量との比較表の[改訂発熱量]を使用

※2 平成14年度『温室効果ガス排出量算定方法に関する検討結果』資料の表:平成12年排出係数より算出

※3 地球環境研究センター、環境庁 国立環境研究所『産業連関表による二酸化炭素排出原単位』資料の発熱量を採用